

JAいわて花巻オリジナルブランド 花巻ブルー その美しさに迫る

JAいわて花巻で生産する青色に輝く花々「花巻ブルー」をご存知だろうか？
人の心を魅了する美しさの裏には、栽培に情熱を注ぐ生産者がいて、
部会・JA・行政が一丸となったPR活動がある。
今回の特集では、誕生秘話とともに花巻ブルーシリーズの魅力を紹介する。

4月～5月

一重咲き、八重咲き、万重咲きなど、多くのバリエーションがあり、2000種を超える品種が存在するクレマチス。一番の需要期は母の日で、JAで生産するクレマチスは全国に届けられる。管内は、栽培の北限産地として、幾年もの厳しい冬を乗り越え丈夫に育ち、鮮やかな花を咲かせる。



クレマチス

4月～6月

別名ツリガネソウと呼ばれており、釣鐘の形をした可愛らしい花が咲く。管内の栽培面積と販売額は日本一で、品質の良さも抜群だと高い評価を受けており市場関係者やバイヤー、消費者などから厚い信頼を寄せられている。青色のほか白やピンク、紫などバラエティーに富んでいる。



カンパニュラ

7月～10月

JAいわて花巻の切花取扱高の半数以上を占めている重点品種。栽培はハウスと露地で、最盛期である盆時期のほか、5月～11月下旬まで長期間に亘り出荷する。管内では、青紫色や白色のほか、ピンク系も多く栽培し、バリエーションも豊富。また、オリジナル品種も多数ある。



切花リンドウ

8月～10月

切花品種と違う矮性種(草丈が短い)で、管内では青紫色の「いわて乙女」が代表的な品種となっており、鉢植えでは、取扱の多数を占める。平成27年秋にはJAいわて花巻のオリジナル品種「花巻銀河ブルー」がデビューを果たし、その品質の良さが全国から注目を浴びている。(P7で紹介)



鉢植リンドウ

花巻銀河ブルー

花きの大産地に

JA管内では、年間を通して多くの花が生産される。市場関係者や買参人からは、品質の良さと美しさはもちろん、丁寧な作り上げる農家の職人技ともいえる生産能力に高い評価と厚い信頼が寄せられている。しかし、消費者(エンドユーザー)の認知度の低さが課題のひとつ。JAと花き関係部会は「花」といえばJAいわて花巻「そんな産地を構築すべく、平成27年に管内の青色系統の花の総称を「花巻ブルー」と名付け、アピール活動を始動した。

ブルーシリーズ誕生秘話

ブルーシリーズの誕生からさかのぼること1年前、園芸販売課で鉢花を担当していた営農指導員が、駅構内に貼られたポスターの前で足を止めた。JA管内を期間限定で走る青色の車体の蒸気機関車「SL銀河」だ。SL銀河の乗車券は運行前に完売するほどの人気だったこともあり、ポスターを眺めながら「乗

客は全国各地から訪れる。これは絶対のPRのチャンス」と思った。「JA産の花とSL銀河をコラボレーションさせたい!これが物語の始まりだった。

起爆剤として

SL銀河とのタイアップは、管内の花き産地を知ってもらおうきっかけ作りが目的だった。また、平成27年秋にデビューを控えていたJAのオリジナルブランドの鉢花リンドウ「花巻銀河ブルー」を盛大にデビューさせたいという思いもあった。だからこそ、単発ではなく継続的にアピールができ、インパクトのあるものが必要だった。

JA産の花き全体をアピールする起爆剤となるものを探し、通年生産する多種多様な花々をどうアピールすべきか、考えを巡らせていた時、「青色の花々が脳内に浮かんだ。SL銀河のコンセプトである銀河のイメージや宮沢賢治の世界観とも合致する!これはいける!「花巻ブルー」が誕生した瞬間である。

創りびとたち

～熱き情熱を傾け創りあげる生産現場の声～

オールJAいわて花巻として産地を強化
～日本全国の花屋に1年中並ぶ花に～



花栽培をして30数年、試行錯誤を続けながら技術向上と年間を通じた出荷体制の確立に努めてきました。

長年、花と共に歩んできましたが、このブルーシリーズには、産地や花のPRとして大変期待しています。

この広い管内の強みを生かし、今後は他の品目を加えながら「オールJAいわて花巻」としてのリレー出荷体制を確立し、生産量の維持に努めていければと思っています。

また、自分たちが生産する花のPR活動や消費者が目に見えて分かることは、生産意識が高まる良い機会です。ブルーシリーズが地元の花屋に常時並び「この町の花」という位置付けになってほしい。そして、全国の花屋に取り扱ってほしいです。

部会では、これからも高品質生産に向けた栽培に力を注ぎ、全国どこに出しても恥ずかしくない花を生産していきます。



花巻地域花き生産部会
高橋 誠 部会長

この美しさ、まずは地元で
～産地を未来に繋ぎ発展させるために～

昨年の夏に就農し、クレマチスを中心に鉢花を栽培しています。それまでは首都圏で花のギフト関係の販売に携わっており、取引先でもあったJAいわて花巻のブルーシリーズは品質もアイデアも素晴らしい商材だと感じていました。

鉢花リンドウ「花巻銀河ブルー」が昨秋に3つの賞を受賞したこともあり、市場関係者や買参人からは花巻銀河ブルーをはじめブルーシリーズは注目されていると思います。一方で、地元ではブルーシリーズを知らない人が多いのが現状。

この素晴らしい産地と花を地域の皆様に知ってもらいたい!それは同時に、諸先輩方が築き上げた産地を未来に繋ぎ、発展させるために絶対不可欠な「新規栽培者とファン」を増やす事に繋がると思います。

私も栽培技術向上に精進していくことはもちろん、販売の現場での経験を生かし、産地の構築に貢献していきたいと思っています。



鉢花生産部会(新規栽培者)
水澤 拓也 さん



生産者と消費者を繋ぐパイプとして
～一般消費者へのPR活動を強化～

切花や鉢花の部会の枠を越え、異なる品目や品種を「花巻ブルー」としてPRすることは、多品目を通年出荷している産地の強みや、品質と技術の高さ、そして産地全体をブランド化させることに繋がります。

ブルーシリーズは、花き関係者には認知されてきましたが一般消費者に浸透していないのが現状。今後はエンドユーザーである消費者に花の素晴らしさを伝えること、そして、IT化で変化する消費者や販売者の情報収集や商品入手方法を敏感にキャッチし、ニーズを取り入れたPR・販売活動を充実していきます。

5月からJAのホームページにブルーシリーズのページを開設し、閲覧で

きるQRコードを印字した「花巻ブルー」のシールとラベルを制作しました。まずは出荷物に付けて全国へ発信します。また、地域企業や行政と連携し、地域の人や観光客が集まる場所への花の設置も進めます。

日々、生産活動に励む農家の努力を絶対に無駄にしたい。また、この企画を創り上げた先輩と生産者の思いを未来に繋ぎ、生産者と消費者を繋ぐパイプとなり、JAいわて花巻の花の素晴らしさを広めていきます。

営農推進部園芸販売課 佐々木 隆史 調査役



JAいわて花巻ホームページ
「花巻ブルーシリーズ特設ページ」
<https://www.jahanamaki.or.jp/rindou/>

